学習指導案形式例（主要教科）

第○学年○組 ○○科学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 単元名（題材名，主題名）

2 単元（題材，主題）について

（1）教材（題材）観（主題設定の理由）

教材（題材）観は、指導者が素材をどのようにとらえ、なぜ、この素材を教材にすることが必要なのかという指導者の考えを記述するものです。

次のような内容について、教科等の特性に合わせて構成しましょう。

①学習指導要領に示されている目標、内容等を分析し、何を、どこまで、どのくらい学習させるのか。どのように教材を解釈し分析したのか。教科等横断的な視点や学年間の系統はどうか。

②本単元のねらいとそれを身に付けさせるために、どのような学習活動をどのような流れで行うか。

③学習内容や教材の特性や価値、この教材を学習する意義、意味に関わって、特に留意すべきことは何か。

④児童生徒はこれまでどのような学習をして、どのような力を身に付けてきたのか、本単元で身に付けさせたい力は、次の単元等や社会や日常にどう結びつくのか。等

（2）児童の実態（令和○年 ○月 ○日実施）

<意識に関する実態>

既習経験や前提となる知識及び技能等を的確にとらえます。事前調査・レディネステスト・意識調査等、日頃の児童生徒の観察等をよりどころとし分析します。個人が特定されないように配慮します。

<単元に関する実態>

実態調査の問題及び回答	考 察
①	・
②	・
③	・

(3) 指導観

①

②

教材観（題材観）や児童生徒の実態を受けて、どのように指導したいのか手立てを明確にしましょう。「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」や授業改善のための「セルフチェックシート」を参考にするとよいです。また、ICTを活用した学習場面や学習形態を考えながら、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための学習活動や手立ての工夫を記述しましょう。

手立ての工夫の例として

- ・思考の流れを振り返りながら考えられるように、思考ツールのプリントを用意する。
- ・各グループの話し合いでは、ウェビングの手法を取り入れる。
- ・グループ活動では、思考を整理できるように、付箋を用意しKJ法で行う。等

(4) 校内研究との関わりから

校内研究テーマ 『 _____ 』

①

②

③全国学力・学習状況調査の結果分析と研究テーマとの関わりから

令和6年度の結果と分析を踏まえて、本単元でどのような取組ができるのかを記述しましょう。なお、必ずしも校内研究テーマと結果分析が関連するとは限りませんので、その場合は、全国学力・学習状況調査の結果分析については、「指導観」に記述してください。

3 単元の目標

○

(知識及び技能)

○

目標は資質・能力ごとに示しましょう。

(思考力、判断力、表現力等)

○

(学びに向かう力、人間性等)

下記のように3つの資質・能力を盛り込んで1文で書く方法もあります。

「例 2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算の仕方について理解し、確実に計算することや成り立つ性質について理解できるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、乗法の成り立つ性質を活用したり、計算を確かめたりしながら、計算した過程を振り返り、今後の学習や生活に活用しようとする態度を養う」

参考文献：『小学校 教育課程の展開』 令和3年3月 千葉県教育委員会

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を参考に、作成しましょう。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①	①	①
②	②	
③	③	
	④	

5 全体計画（11時間扱い） ●指導者が指導の改善に生かすための評価 ○観点別評価、評定に生かすための評価

時	○目標 ・ 学習内容（学習問題）	評価規準（ ）内は評価の方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<p>どのような内容を、どのような順序で指導したらよいか一連の流れを考え構成しましょう。児童生徒の立場に立ったり、反応を予想したりして構成しましょう。特に、思考する時間や活動、話し合いの時間を十分とり、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」が実現されるような単元構成を考えましょう。</p>	●知①② (ノート分析)	○思① (活動観察, ノート分析)	●態① (活動観察, ノート分析)
2		●知③ (ノート分析)	ト分析)	
3				
4		●知③ (ノート分析)	○思② (活動観察, ノート分析)	
5				
6		●思③④ (活動観察, ノート分析)	○態① (活動分析, ノート分析)	
7				
8	<p>本時がどのように位置付けているのかを明確にしましょう。</p>	<p>教科によって、評価の仕方は異なります。単元の目標を分析し、各時間の目標にふさわしい観点に評価項目を精選する必要があります。どのような評価を、どのような方法で行うのか計画を立てましょう。</p>	○思② (活動観察, ノート分析)	
9				
10			○思② (活動観察, ノート分析)	
11		○知①②③ (ペーパーテスト)		

知①②の①②は「4 単元の評価規準」の①②に対応しています。

6 本時の指導 (8 / 11)

(1) 目標

本時の指導目標を明確かつ具体的に書きましょう。

(思考力, 判断力, 表現力等)

(2) 展開

指導観で記述した内容や取り組みと, 本時の指導とをリンクさせることが大切です。

過程・時配 (学習形態)	学習活動と内容	○指導上の留意点 (UDの視点も含む) ☆評価 (方法) ◎個別の支援	資料
見いだす ○分 【全体】	<p>1</p> <p>本時の学習活動がどのように流れ, 教師はどのような場面でどのような具体的手立てをとるのがわかるように書きましょう。</p> <p>ユニバーサルデザインの視点を含めた指導上の留意点, 個別の支援を取り入れて手立て等を考えましょう。</p>	<p>○</p>	
自分で 取り組む ○分 【個】	<p>2</p> <p>なぜ</p> <p>3</p>	<p>◎</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>「ユニバーサルデザインの視点」とは, 通常学級の授業において特別支援教育の視点を生かした指導・支援の工夫を図ることにより, 特別な教育的支援が必要な子どもだけではなく, 全ての子どもにとって「わかる・できる」授業を構築すること。</p> <p>ワークシート等, 準備するものを書きましょう。</p>
広げ深める ○分 【全体】	<p>4</p>	<p>◎</p>	<p>個別に支援を要する児童生徒がいる場合は, 具体的に支援の手立てを書きましょう。児童生徒の主体的な学びを引き出すために, 手立ては「~させる。」のではなく、「(児童生徒が) ~できるように (教師は) ~する。」等の表現にしましょう。例、話し合いが深められるように、~する。</p>

まとめ あげる ○分 【全体・個】	5 ○ <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin-top: 10px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時の指導では、学習形態を記述する欄を設けるか「学習活動と内容」に【 】等で位置付けるとよいです。(例【個】【ペア】【全体】など。道徳であるなら【役割演技】等も考慮するようにしましょう。</p> </div>	◎ ○ ○ ○ ◎ ☆	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>本時に即した具体的な評価規準と評価方法を明確にしておきましょう。</p> </div> <p style="text-align: center;">(ノート・発言)</p>
	○		

【参考】

- ・ 京都府総合教育センター：質の高い学力を育成する学習指導案ハンドブック 平成24年3月
- ・ 千葉県総合教育センター：授業づくりガイドブック 授業力アップ【改訂版】 平成27年3月
- ・ 千葉県総合教育センター：ユニバーサルデザインの考え方に学ぶ どの子ども『わかる』『できる』を目指す支援の工夫 ヒント集 平成27年3月
- ・ 千葉県教育委員会：令和5年度初任者研修テキスト さわやか先生 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校編 令和5年3月31日
- ・ 千葉県教育委員会：学びの困難さに対する指導の手立て集 令和4年3月
- ・ 南房総教育事務所：授業改善のための「セルフチェックシート」 令和4年4月